

◇一ノ木戸ポプラ学園の目指す子ども◇ ～ ゆたかなかわりを求めて 夢や希望をもち 未来をひらく子ども ～



三条市立一ノ木戸小学校

〒955-0046 三条市興野 1-18-1

TEL 0256-33-0338 FAX 0256-33-4372

URL: <https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/itinokido/index.html>

E-mail: sanjo.itinokido-es@edu-niigata.ed.jp

【学校教育目標】

かしこく
たくましく
あたたかく

【学校教育目標】

互いに敬愛し合い
たくましく
実践する生徒

三条市立第二中学校

〒955-0046 三条市興野 1-18-1

TEL 0256-33-1248 FAX 0256-32-6835

<https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/dai2/index.html>

E-mail: sanjo.dai2-jhs@edu-niigata.ed.jp



児童生徒・学区の状況

- 行事等において堂々と発表したり、演じたりと優れた表現力を見せる。
しかし、人間関係を育成する力をさらに高める必要がある。
- N R T学力テスト等の学力検査は、概ね全国平均に達している。
- 明確な目的意識をもって活動に取り組む実践力や自分の生き方を確立する態度などをさらに高める必要がある。

□学区には、地域振興局、三条東公民館等の公共施設、商店や事業所、住宅街がある。J R 東三条駅、2本の産業道路が通り、交通の要所ともなっている。

■三条市の「小中一貫教育のねらい」

- ①たくましく、すこやかに生きる力の育成
- ②心身の発達を考慮した見通しのある連続性の確保
- ③学園で一体となった教育環境づくり

■三条市の「目指す子ども」

「未来を拓き、力強く生きるための『確かな学力』『豊かな心・個性』『健やかな身体』をもった三条っ子」

一ノ木戸ポプラ学園の小中一貫教育を推進する組織

一ノ木戸ポプラ学園 運営協議会

(学園長・保護者代表・地域住民代表等)

コミュニティスクール

一ノ木戸小学校
運営協議会

第二中学校
運営協議会

一ノ木戸ポプラ学園小中一貫教育推進会議

二校連絡会

◆地域・保護者の方々の参画・ボランティアを促す活動を創造します。理解と協力を土台としながら、地域、保護者と学校が一体となって行う教育を展開し、共に子どもを育てます。

地域連携
部会

評価広報部会

共同授業・共同活動部会

学力向上部会
各教科部会
★まなび

豊かな心
育成部会
★こころ

体力向上部会
★からだ

特別支援
教育部会

学園の運営方針の共有

リトルティーチャー(LT)活動

一ノ木戸ポプラ学園の 活動の ひとコマ



【地域あいさつ運動】



【リトルティーチャー活動】



【放課後学習教室】



【学園等運営協議会】

目指す子ども

ゆたかななかかわりを求めて 夢や希望をもち 未来をひらく子ども

学校教育目標

かしこく たくましく あたたかく（一ノ木戸小学校）互いに敬愛しあい たくましく 実践する生徒（第二中学校）

学園で目指す5つの資質・能力

自律する

- ・自分のありのまま（良さ・欠点等）を受け止め、自分を理解する。
- ・自分の意思で判断し、責任をもって行動する。
- ・自分の行動を振り返り、次のよりよい行動につなげる。

協力して解決する

- ・多様な他者とコミュニケーションをとり、協力して活動する。
- ・自分の考えを相手に伝え、相手の意見を受け止め、納得解を見出す。
- ・地域や社会とかかわり合い、地域や社会の良さを実感したり、課題に取り組んだりする。

挑戦する

- ・なりたい自分（夢・志・目標）を描き、向上心をもって努力する。
- ・自分にとって新たなことにも意欲的に取り組む。
- ・失敗しても、試行錯誤し、粘り強く取り組む。

人を大切にする

- ・自他の違いを認め、自他の良さが分かる。
- ・相手の気持ちを考えた言動ができる。
- ・人の役に立つことに喜びを感じる。

創造する

- ・生活や社会をよりよく変化させようと、我が事感をもって、自律的に学び行動する。
- ・自分や生活の願いの具現や問いの解決を通して、新しい考えや表現、よりよい生活や活動をつくる。
- ・地域・社会の良さや課題を見出し、解決する活動をおして地域・社会に貢献する。

伸長期中 2・3

- 主体的・対話的な学びのための授業改善の取組
- ・小中合同研修、NRT 分析研修

活用期小 5・6 中 1

- 自己教育力を高めるための取組
- ・家庭学習強調旬間
- ・放課後学習教室
- ・学びの構え、カリキュラム検討
- ・乗り入れ授業

基礎充実期小 1・2・3・4

◇課題解決のための一貫性ある取組

9年間を見通したカリキュラム

- 共感的人間関係作りの取組・いじめ見逃しゼロスクール集会
- 音楽交流会
- 自己有用感育成の取組（行事後メッセージ交換）
- 地域あいさつ運動の関わり

◇一貫性ある取組

9年間を見通したカリキュラム

- メディアコントロール・睡眠時間確保のメディアコントロールの取組（元気アップウィーク）
- 体力向上の取組
- 小中合同保健委員会
- ・メディアコントロール等講演会
- 給食残量チェック
- 体力テスト

◇一貫性ある取組

9年間を見通したカリキュラム

各部

まなび部

こころ部

からだ部

リトルティーチャー（LT）活動 〈学ぶ楽しさや意欲・自己有用感・達成感を味わう活動〉

★学習発表活動等（小中各学年が生活・総合の学習の過程やまとめを発信したり、交流したりし合うことで学びを深める取組）

★絆スクール集会、音楽交流会（中1が小6に中学校生活についてガイダンスする取組）

★体力テスト（小1～小3年生）の補助活動（体力向上の取組）

特別支援教育部

〈一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮〉

市県国の事業

★NRT★全国学調 等

★WEBQU

★体力テスト

ちいき部

現状

- ◆学園等運営協議会での年間3回の熟議を経た挨拶運動等アイデアの具現。
- ◆地域のよさにさらに気付く必要がある。
- ◆地域行事への関心をさらに高め、参加率を上げる必要がある。
- ◆地域への愛着をさらに高める。

小中一貫教育に関わる各種取組

- ★9年間を見通したカリキュラム
- ★地域あいさつ運動（毎月15日実施）
- ★メッセージカード
- ★地域とかかわる地域貢献活動、児童生徒の参加が期待できる地域行事との連携